

花咲

はな
さき



photo あさひかわ乗馬クラブ提供

第8回健康まつり2025を開催しました。……………	2~3
「呼吸器内科ってどんなところ?」「安心安全なお薬のために」……	4
地域連携の集い……………	5
ふくふく……………	5
外来担当医表……………	6

～わたくしたちの理念～

わたくしたちは、安全で質の高い医療を提供し、患者さんの目線に立ち、信頼される病院をめざします。国立病院機構の病院として、みなさんの健康と幸福をいつも願っています。

(広報室より)

広報誌「花咲」は、幅広い方々に愛読されるような広報誌を目指しております。ご意見ご感想などございましたら、下記メールアドレスまでお願いいたします。
旭川医療センター広報室
E-mail 103-renkei@mail.hosp.go.jp

健康チェック



第8回健康まつり開催し

10月4日(土)に第8回健康まつりを開催しました。今年も様々な部門が協に参加いただきました様に感謝申し上げます。

健

体験コーナー



相談コーナー



院内ツアー



キッチンカー



まつり2025を ました

旭川医療センター健
かし、600名ほどの方
。ご来場くださった皆
康まつり実行委員会



ステージイベント



医療講演



縁日コーナー



売店コーナー



「呼吸器内科ってどんなところ？」

呼吸器内科 堂下 和志

当院は、日本で最北に位置する国立病院として、旭川市だけでなく道北・道央の広い地域から患者さんを受け入れています。このエリアは人口が少なく、呼吸器内科の専門医がいる病院も多くはありません。

呼吸器内科では、肺癌、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、喘息、肺炎、結核、非結核性抗酸菌症、間質性肺炎、肺真菌症など、さまざまな「息をすること」に関わる病気を診ています。レントゲンやCT、MRI、気管支鏡検査などを組み合わせて診断し、お一人おひとりに最も適した治療方針を一緒に考えていきます。

近年、肺癌は増加傾向にあり、抗癌剤や分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬などを用いた薬物療法が進歩しています。当院では、外科治療や放射線治療、緩和ケアと組み合わせた「集学的治療」を行い、体への負担をできるだけ抑えながら、治療効果と生活の質（QOL）の両立を目指しています。外来化学療法も行っており、通院での治療にも対応しています。

当院にはCOPDに特化した「COPDセンター」があります。COPDは、主に長年の喫煙が原因となる「肺の生活習慣病」で、動いたときの息切れや長引く咳・痰が特徴です。日本ではまだ認知度が低く、診断を受けていない方も多く考えられています。当センターでは、予防と早期発見、専門的な診断・治療、新薬の治験、呼吸リハビリテーション、禁煙支援などを総合的に行っていきます。

呼吸リハビリテーションは、運動療法や呼吸法の練習、栄養指導、薬の使い方の確認などを通して、「息切れとうまく付き合いながら、日常生活をできるだけ楽にすること」を目標としたプログラムです。在宅酸素療法（HOT）や非侵襲的陽圧呼吸（NPPV）、ハイフローセラピーなども活用し、ご自宅での生活を支えています。慢性の呼吸不全や結核後遺症でお困りの方にも、多職種チームが継続して関わります。

当科の特徴として、全国の大学や研究機関、病院と協力しながら、臨床研究や新しい薬の治験に積極的に参加していることが挙げられます。最新の診療ガイドラインに基づいた標準的な医療に加え、一歩先を見据えた先進的な医療を地域の皆さんに届けられるよう努めています。

患者さんやご家族に病気をよく理解していただくことも大切です。当院ではCOPD教室や市民公開講座を定期的開催し、病気の仕組みやお薬のこと、日常生活で気をつけるポイントなどをわかりやすくお伝えしています。病院公式Webサイトなどを通じた情報発信にも力を入れています。

高齢化や大気環境の変化に伴い、呼吸器の病気は今後ますます増えていくと予想されています。当科は、地域の医療機関と連携しながら、皆さまの健康と生活を支える呼吸器医療を担っていきます。息切れが気になる方、咳や痰が長く続く方、検診で胸の異常を指摘された方は、どうぞ一人で悩まずにご相談ください。皆さまの呼吸と暮らしを守るパートナーとして、これからも質の高い医療を提供してまいります。

薬剤部「安心安全なお薬のために」

薬剤師 花井 耀生

当院薬剤部には現在10人の薬剤師が在籍しており、適切な薬物療法の提供のために業務にあたっています。今回職場紹介の機会をいただきましたので、薬剤師が病院でどのような業務を行っているのか紹介します。

・ミキシング

高カロリー輸液や抗がん剤の調整を行っています。薬剤を汚染したり抗がん剤が漏れ出したりすることのないよう、防護服を着用し高性能フィルターを備えた機器（クリーンベンチ/安全キャビネット）の中で行います。

・持参薬鑑別

入院されたすべての患者さんの持参薬を確認し、種類や数量を記録しています。この記録を基に入院中に継続処方が出され、看護師が薬剤のセットを行います。

・薬剤指導、処方提案

入院患者さんへ、新たに始まる薬剤についての説明や副作用が出ていないかの確認を行い、必要に応じて主治医へ処方提案などを行います。

・医療チームへの参加

感染制御や栄養サポートなどのチームに参加し、薬学的観点から医療の質向上に貢献しています。

その他、調剤業務や医師や看護師からの薬剤に関する問い合わせへの対応、外来処方箋の疑義照会への対応なども行ってまいります。疑義照会については、待ち時間の削減が期待できる疑義照会PBPMを導入し保険薬局との薬薬連携にも力を入れています。

これからも安心・安全な薬物療法を提供できるよう努めてまいります。



ミキシングの様子



医師と治療方針について話し合う様子

第331回 旭川医療センター症例報告会・地域医療連携の集い -顔の見える関係づくりを-

旭川医療センター 地域医療連携室 医療ソーシャルワーカー 佐藤 文彦

11月13日(木)第331回旭川医療センター症例報告会・地域医療連携の集いを旭川アートホテルにて開催致しました。ご多忙の中、約90名の医療・介護関係者の皆様にご参加頂きました。

症例報告会では、呼吸器内科 堂下和志医師より、【旭川医療センター呼吸器内科入院患者の地理分布：1kmメッシュ解析による高利用・低利用・未利用地域の同定】について、脳神経内科 片山隆行医師より、【認知症性疾患の最近の話題】についてミニレクチャーが行われました。

地域医療連携の集いでは、各テーブルとも和やかな様子で、近況報告などの話題に花が咲いている様子でした。初めて参加して頂く方の中には緊張された様子の方もございましたが、時間経過とともに打ち解け、有意義な顔の見える関係づくりを行って頂けたのではないかと思います。

良好な信頼関係や連携体制の構築は一朝一夕で出来るものではなく、継続が重要だと肌で感じる貴重な機会となりました。



ふくふく

金沢で国立病院学会、常盤貴子さんの講演を聞いて

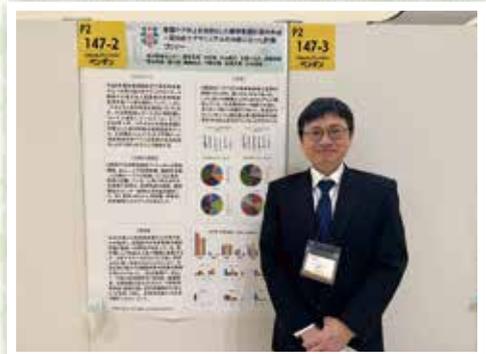
1病棟 副看護師長 認知症看護認定看護師 藤信 真吾

今年の第79回国立病院総合医学会は金沢医療センター、石川病院、七尾病院が中心となり11月7日～8日に金沢市で行われました。国立病院機構は北海道から沖縄まで140施設あり、職員数は約6万4千人もいます。今年の学会には約5000人が参加しました。

私は当院、認知症対策チームの一員として昨年度から始まった身体拘束最小化の取り組みについてポスター発表してきました。会場は駅前の地下で札幌駅前地下歩行空間のような場所でした。各ポスターの前で発表者が発言するのですが、会場が広すぎて声が聞き取れないため今年から携帯電話を利用した無線マイクのシステムが稼働していました。発表内容にもあるのですが、今後も身体拘束最小化の取り組みを推進し患者さんの安全確保と同時に人権擁護や苦痛の軽減を図っていきます。

この学会には全国から多職種が集まるため幅広い学びの場となっています。様々なプログラムがあり医療現場におけるAIの活用、病院経営、能登半島地震に関するプログラムなど幅広く学ぶことができました。

能登半島地震についての特別企画では俳優の常盤貴子さんが講演されお話を聞くことができました。常盤さんは能登の地震がきっかけで防災士の資格を取得、各地で講演活動をされています。印象に残ったのは、「自分は特別なことはしていない。現地を訪れ、出会った人のことを他の方に伝えているだけ。皆さんもボランティアをしなきゃとか自分にできることは何だろう等重く考えないでほしい。まず気軽に現地へ行って楽しんでほしい。」とおっしゃっていました。本当に素敵なお方だなと思いました。今回は出張で金沢を訪れたため、駅周辺しか見ることができず地震の影響はわかりませんでした。私は年間1万5千キロ以上愛車を運転するお出かけ大好き看護師です。車以外でも最近では東京や茨城、栃木にも旅行に行きました。次回はプライベートで能登を訪れ自分の目で見て考えてみたいと思います。



外来担当医表

令和8年1月1日現在

受付時間 午前8時30分から午前11時30分まで〔再来受付機は午前8時。〕

診療科別	診察室番号等	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼吸器内科	B 1 診察室⑪		高橋 洸	金子 未波		金子 未波
	B 1 診察室⑫	中村 慧一	上田 将司	上田 将司	中村 慧一	
	B 2 診察室⑯	藤田 結花	辻 忠克		藤田 結花	辻 忠克
	B 2 診察室⑰	堂下 和志		藤兼 俊明	藤兼 俊明	堂下 和志
	疾患センター外来 COPD (慢性閉塞性肺疾患) 午後診療 13:00~14:00 (予約診療のみ)	(センター長) 堂下 和志 診察室⑰		(新患) 禁煙外来 (予約制)		
脳神経内科	A 1 診察室①	(新患) 木村 隆	(新患) 片山 隆行	(新患) 新患担当医	(新患) 黒田 健司	(再来) 相馬 純
	A 1 診察室②		(再来) 野村 健太		(再来) 岸 秀昭	(新患) 野村 健太
	A 2 診察室⑥	(再来) 黒田 健司	(再来) 木村 隆		(再来) 木村 隆	(再来) 片山 隆行
	A 2 診察室⑦		(再来) 担当医			(再来) 黒田 健司
	A 2 診察室⑧					
	疾患センター外来 パーキンソン病	(センター長) 木村 隆 診察室①				
消化器内科	A 1 診察室③				(再来) 出張医(西村秀夫)	
	A 1 診察室④	(新患・再来) 横浜 吏郎		(再来) 横浜 吏郎	(再来) 横浜 吏郎	(再来) 横浜 吏郎
	A 1 診察室⑤		(再来) 玉木 陽穂	(新患・再来) 玉木 陽穂	(糖尿病) 出張医 (予約制)	(新患) 玉木 陽穂
	A 2 診察室⑨	リウマチ(新患・再来) 平野 史倫	リウマチ(新患・再来) 平野 史倫	リウマチ(新患・再来) 平野 史倫		リウマチ(新患・再来) 平野 史倫
	A 2 診察室⑩	(再来) 斉藤 裕樹	(新患) 佐藤 恵輔	(再来) 出張医(西村秀夫) (午後のみ)	(新患・再来) 斉藤 裕樹	(再来) 佐藤 恵輔
	特殊外来	(甲状腺) 平野 史倫 診察室⑨		(骨粗鬆症) 平野 史倫 診察室⑨		
	疾患センター外来 リウマチ	センター長(リウマチ) 平野 史倫 診察室⑨	センター長(リウマチ) 平野 史倫 診察室⑨			センター長(リウマチ) 平野 史倫 診察室⑨
循環器内科	B 1 診察室⑭	石田 紀子	野呂 忠孝	野呂 忠孝	石田 紀子	野呂 忠孝
	B 1 診察室⑬			石田 紀子 (予約制)		
	ペースメーカー外来 (予約制)					

診療科別	診察室番号等	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
小児科 一般外来	D 診察室② 午前	吉河 道人	吉河 道人	吉河 道人	吉河 道人	吉河 道人
	D 診察室② 午後	吉河 道人(*)	吉河 道人(*)	吉河 道人(*)		

*小児科一般外来午後(月~水)受診希望の方は、事前に小児科外来へ問い合わせください。

診療科別	診察室番号等	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
小児科 発達神経外来	D 診察室① 午前	宮本 晶恵	宮本 晶恵		宮本 晶恵	
	D 診察室① 午後	宮本 晶恵	宮本 晶恵	佐々木 彰	宮本 晶恵	

*小児科発達神経外来は初診・再診とも完全予約制となっております。

診療科別	診察室番号等	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
外 科	C 診察室⑳	青木 裕之	紅露 大介			前田 敦
	C 診察室㉑	渡邊 一教	山上 英樹			山上 英樹
	J 2階透析室	透析		透析		透析

*外科は、火・水・木曜日は手術日です。

診療科別	診察室番号等	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
放射線治療科	G 放射線診察室		宮野 卓		宮野 卓	

診療科別	診察室番号等	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
泌尿器科	B 2 診察室⑱		出張医			

*泌尿器科の受付時間は、午後1時30分から午後4時となっております。

予約変更、問い合わせについて

予約変更、予約内容の問い合わせは平日14:00~16:30の間
をお願いします。

*予約日当日のキャンセル等お急ぎの場合は、代表番号0166-51-3161までご連絡下さい。

☎ 0166-51-7001